



コーポレートガバナンス／コンプライアンス／リスクマネジメント

コーポレートガバナンス

当社は、監査役による監視・監督のもと、取締役会が業務執行についての重要な意思決定を行うガバナンス体制を採用しています。また、一般株主と利益相反を生じることのない立場(独立役員)の社外取締役を迎え、健全で透明性の高い体制を整備しています。

内部統制システムの整備・評価の実施部門として内部統制部を設置し、「内部監査規程」に基づき、工場、営業拠点および子会社等の会計・業務監査を行っています。

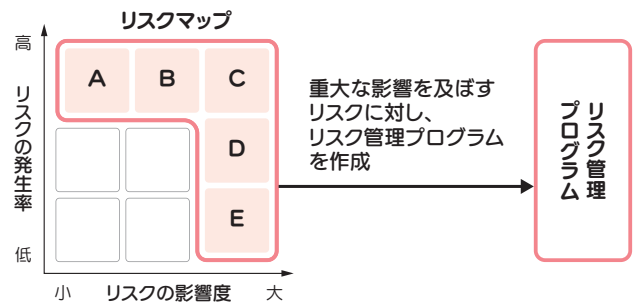
コンプライアンス体制

当社は、コンプライアンスを企業経営の基本とし、法令や社内規程を遵守するとともに、社会倫理や道徳を尊重し、社会の一員であることを自覚した事業活動を行うよう努めています。「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、コンプライアンス教育やリスクマネジメントの継続的な改善・強化に取り組んでいます。また、同委員会は通報者のプライバシーが守られるように配慮しながら、従業員からの相談・報告に対応する内部通報制度の運営など、コンプライアンスやハラスメント対策の実行性を担う役割も果たしています。

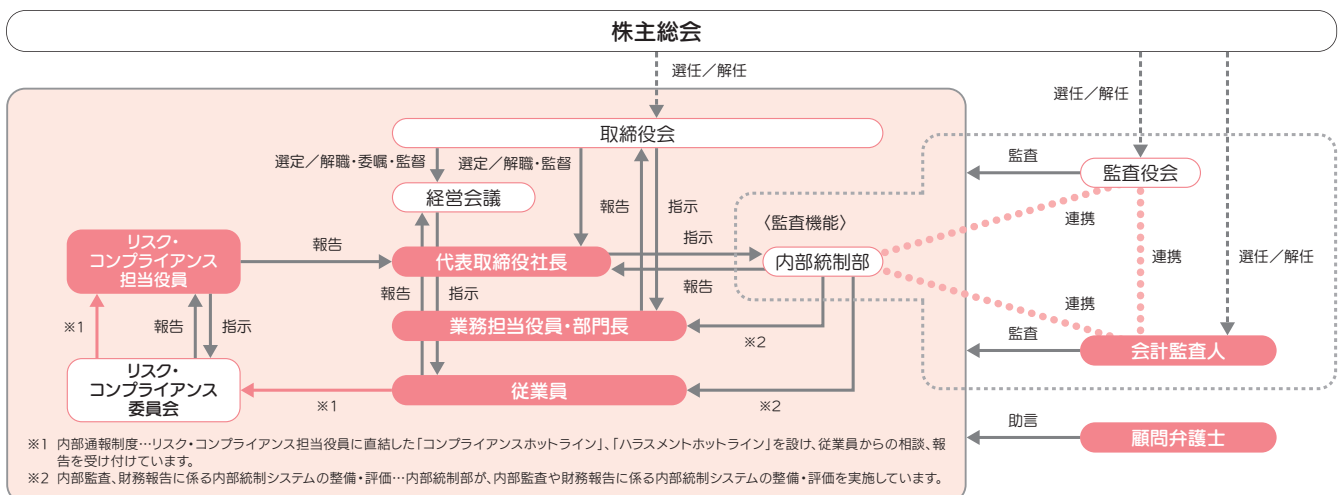
リスクマネジメント体制

当社は、会社法の定めに基づき「損失の危険の管理に関する規程」を制定しています。重要な業務は、執行に伴うリスク分析や対策の検討をしたうえで、経営会議や取締役会で審議・決定します。また、「リスク・コンプライアンス委員会」では、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生した場合の影響度などを分析・評価して、「リスクマップ」を作成しています。グループ経営に重大な影響を与えるリスクについては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行することで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスク管理と体制整備を推進しています。

リスク管理の概要



コーポレートガバナンス体制図



事業活動を守るために 情報セキュリティリスクに備える

事業活動に重大な影響を及ぼすリスクのひとつに、情報セキュリティリスクがあります。当社グループが保有する機密情報や個人情報が破壊・改ざんされ、また外部に漏洩すれば、当社グループおよび関係者の方々に大きな損失をもたらします。こうしたリスクに備えて、「情報管理委員会」を設置し、情報セキュリティに関するリスクの低減に取り組んでいます。

オイル流出を想定し、防災訓練を実施

毎年実施している防災訓練では、さまざまな災害を想定し、迅速で適切な対処による被害の低減に備え訓練しています。

2016年11月に筑波事業所で実施した防災訓練では、オイル流出が発生した場合を想定し、オイル吸着マットによる対処の訓練を行いました。



オイル吸着マット訓練(筑波事業所)

コンプライアンス教育を 継続的に実施

当社は、役員および全社員が、コンプライアンスを深く理解し、実践できるよう、継続的な啓発活動およびコンプライアンス教育を実施しています。

毎年、全社員を対象にして、コンプライアンスに関わるさまざまなモデルケースを取り上げたeラーニングを実施しています。各ケースの問題点について解説し、適切な行動がとれるように工夫しています。また、毎月「RISOコンプライアンス便り」を発行し、イラストを交えたわかりやすい事例で、コンプライアンスを身近なこととして考えるきっかけを提供しています。



RISOコンプライアンス便り

法規制の遵守状況

2016年度の当社の法規制および法規類の監視・測定、遵守評価の結果、全て遵守していることを確認しました。行政機関から罰金や行政指導は受けておらず、また地域社会より環境に関わる苦情も受けていません。

COLUMN

「平成28年度プライバシーマーク制度貢献事業者」表彰

当社は2004年3月より、プライバシーマークの付与を受け、個人情報保護レベルの維持・向上に努めています。2016年には、7回目の付与適格決定を受け、また、同制度の普及推進への貢献が認められ、プライバシー

マーク制度貢献事業者として表彰されました。情報漏洩リスクが注目される中で、個人情報を含めた情報漏洩を防ぐため、不正アクセスの防止などのセキュリティ対策に積極的に取り組んでいます。

